

野菜畑作生産情報 第7号 (要約版)

平成27年10月20日
青森県「攻めの農林水産業」推進本部

◎適期収穫で良品生産に努めましょう！

◎小麦の排水対策を徹底しましょう！

○大豆

- 1 成熟期は平年並から早く、収穫適期に達したほ場も見られる。
- 2 ほ場毎に成熟期を確認し、計画的に刈取りを行い、適期収穫に努める。

○小麦

- 1 は種後の生育は、概ね良好である。
- 2 明きよの設置など排水対策を徹底して湿害を防止する。
- 3 雪腐病の発生が懸念されるほ場では、11月中旬から下旬頃に薬剤散布する。

○ながいも

- 1 いもの肥大は概ね順調である。
- 2 収穫は、茎葉が完全に黄変し、試し掘りでアクが発生しないことを確認してから開始する。
- 3 茎葉の絡んだ「ながいもネット」は、堆肥化等により減量し、ネットと茎葉を分別した上で適正に処理する。

○秋冬だいこん

- 1 生育は平年より遅れているが、品質は良好である。
- 2 ほ場毎の試し掘りで肥大状況を確認し、適期に収穫する。

○ねぎ

- 1 8月中旬から下旬の低温・日照不足の影響で、細めの傾向である。
- 2 生育状況を確認し、適期に収穫する。

○冬期間のハウス栽培

- 1 降雪、強風等に備えて、ビニールやマイカ線などの点検・補修を行う。
- 2 二重被覆などにより保温効率を高め、きめ細かな温度管理で省エネルギーに努める。
- 3 ハウス内は、循環ファン等を設置して施設内の温度ムラを減らすとともに、時間帯に応じた細やかな管理ができる変温装置を活用したり、暖房機の温度を生育適温の下限に設定するなど燃料の節約に努める。

施設園芸省エネルギー生産管理マニュアル

(http://www.maff.go.jp/j/seisan/kankyo/nenyu_koutou/n_energy/pdf/manual.pdf)

施設園芸省エネルギー生産管理チェックシート

(http://www.maff.go.jp/j/seisan/kankyo/nenyu_koutou/n_energy/pdf/check.pdf)

◎ハウス用ビニールやマルチなどの使用済プラスチック類は、市町村適正処理協議会や農協の回収システムなどを利用し、適正に処理しましょう。

◎日本一健康な土づくり強化月間（平成27年9月～11月）

◎秋の農作業安全運動展開中！（8月15日～10月31日）

◎農薬は適正に使用しましょう。

農薬情報(http://www.maff.go.jp/j/nouyaku/n_info/)

農薬登録情報検索システム(http://www.acis.famic.go.jp/index_kensaku.htm)

◎ほ場を見回るなど農作物の盗難防止に努めましょう。



報道機関用提供資料（連絡先）	
担当課	農産園芸課
担当者	野菜・畑作物振興グループ 今井 技師
電話番号	直通 017-734-9481 内線 5079
報道監	農林水産部 津島 農商工連携推進監（次長） 内線 4966